

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日 : 平成17年9月11日

評価日 : 平成17年9月11日

グループホーム名	白雲
----------	----

作成者(代表)	職名	管理者
	氏名	丸本真由美

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(17年 9月 1日現在)
	自己	外部				
1	27	22	どんな場面でもでも入居者を大切にし、誇りやプライバシーを損ねるような声かけをしない。	カンファレンスで個々の利用者の生活歴を再度確認し、声かけ対応の仕方に気をつけていく。全国大会の事例(セリフ集について、その言葉の大切さ)を参考に、「白雲」内でのセリフ集を作る。そして統一した良い声かけを行なっていきたい。	年内3か月 その都度	
2	57	38				
3	9	8	利用者一人ひとりに合わせた居室の環境づくりをして、安心して過ごせる場所にしたい。	家族の訪問時に、話し合ってもっと馴染みの品物を持ってきていただくように働きかける。	その都度	
4	3	2	運営理念の明示	ケアカンファレンスで話し合い各フロアの理念を作り、明示する。	1か月以内	
5	85	49	スタッフそれぞれが、緊急時に対応できる心構えと技術を身につける。	消防署指導による救急法を受講する。(8月に1回受講済み)年2回実施。	H18年3月頃	
6	106	58	スタッフ間の交流をはかり、協力関係を高める。 ストレスを緩和する。	職場以外での交流を図る。(遊び、語りの場を設ける)	その都度	
7	134	72	ホームの機能を地域に還元できるように働きかけていく。	中学生の職場体験学習受け入れへの協力。 ホーム内で喫茶を行い、地域の人に来ていただく。	H17年11月 予定	
改善済	120	65	相談・苦情受付の明示	意見箱及び入居契約書の重要事項説明書へ具体的に職員名・電話番号・公的機関窓口を明示する。	即日	